

[023]雅俗表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7434531>

出版情報：雅俗. 23, 2024-07-15. 雅俗の会
バージョン：
権利関係：



雅 俗 第二十三号

令和六年七月

【巻頭エッセイ】

この三冊

井上泰至 2

【論考】

板木所有の心性

―桂雲堂大阪支店における板木購入と明治期後印本 磯部 敦 4

『和学知辺草』考 ―神道について

中尾友香梨
中尾健一郎 20

徳川治宝の有職

―長沢伴雄自筆『西浜御殿御用留』を中心に― 亀井 森 33

「咸宜園」名称考

井上敏幸 45

【スポットライト】

近世民間知識人の出版活動と教訓書の変容

―勝田知郷『六論衍義大意』を例に 殷 曉星 58

【研究ノート】

時雨の亭の現在

―（定家と式子）伝承の舞台の変遷（三） 天野聡一 74

山岡元隣『宝蔵』箋註（十三）

―巻六・追加発句（101）―（150） 川平敏文 81

【寄稿】

みずからすすんで不自由になるか

―新・人文学のプリンシプルを忘れるな 白石良夫 93

【名著巡礼】

高田衛著『上田秋成研究序説』

丸井貴史 100

【連載エッセイ】

デジタルヒューマニティーズと私

飯倉洋一 105

【私の研究履歴】

次をめざすために

山田和人 110

【連載】

青柳種信関連書簡集（十）

吉田 宰
手紙を読む会 114